

【決算ハイライト】

- ・2014年度業績は、売上高が対前年比+6.8億円の358.1億円、経常利益が対前期比+5.6億円の16.8億円となった。鉄鋼向け、一般顧客向けの売上・収益増により増収増益を達成。リーマンショック以前の業績を上回る過去最高水準の業績となった。
- ・2015年度業績見通しについて、売上高は378.0億円と、JFEスチール向けを中心に2014年度から約20億円の増加を見込む。一方、経常利益は16.6億円と、戦略的先行投資のコストを織り込み、ほぼ2014年度と同額を見込む。
- ・配当について、2014年度は6円増配の1株当たり28円で株主総会に諮る予定。また2015年度は一段の増益見通しを受け、年30円の配当を予想。これは上場後最高額の配当である。

【質疑応答】

Q. 2018年以降の「事業構造の転換」とは。

A. 当社の事業の中で、従来あまり大きなウエイトを占めていなかった基盤事業、ソリューション事業など、将来収益を高めることが期待できそうな事業を拡大していく戦略のこと。

Q. 基盤事業の拡大について、どのようなシナリオで進めるのか。

A. 競争の激しい分野だが、当社のユーザー系としての強み、お客様の要望を細かく聞いて対応していくという事業モデルを生かすことができると考えている。JFEグループの個々の企業が持つシステム基盤のクラウド化・仮想化などから、一般のお客様向けに広がっていきたい。

Q. JFEスチール製鉄所業務プロセス改革対応が終わる、4～5年後の業績見通しは。

A. このプロジェクトを通じてできるだけ多くの技術、ノウハウを社内に蓄積し、ソリューション事業、パッケージ開発などに活用し、一般のお客様向けの売上を伸ばして行きたい。これにより、より高収益な事業構造への転換を目指したい。

以上